

広報

ブレイブサークル

13

2025.02

大腸がん検診啓発に関する活動情報をお届けします

日頃より、当法人事業にあたたかいご理解ご協力を賜り、誠にありがとうございます。
広報ブレイブサークル13号をお届けします。

2025年度 小冊子・ポスター無償提供開始

■大腸がん検診・精密検査の受診勧奨用小冊子 2種

NPO法人ブレイブサークル運営委員会では、全国の市区町村が実施している大腸がん検診・精密検査の受診勧奨を支援する資料を作成し、都道府県のがん対策部門や市区町村のがん検診担当部門、医療機関などへ無償提供を継続します。2024年度は1,139市区町村でご活用いただきました。2025年度の検診案内等にぜひご活用ください。すでに都道府県を通じて多数お申込みをいただきました。数に限りはございますが、在庫をご用意しておりますので、追加のご注文も受け付けます。また、連携する医師会や地元企業の健康管理部門にもぜひご紹介ください。地域全体で大腸がん検診の大切さをひろげていければと願っております。



大腸がん検診全般用小冊子

大腸がんの現状や大腸がん検診全般について簡潔に説明した内容です。

【使用例】
大腸がん検診の案内時や便潜血検査キットを送付時に同封
公共施設や医療機関等に設置など



大腸がん精密検査用小冊子

大腸がんの精密検査(大腸内視鏡検査等)について説明した内容です。

【使用例】
検診(便潜血検査)の結果通知を郵送する際に同封(もしくは手渡し)
公共施設や医療機関等に設置など

●大腸がん検診全般用

「気になる症状がない」という理由で、自分だけは“まだ”大丈夫とっていませんか？しかし、早期の大腸がんではほとんど自覚症状がないからこそ、元気な時の検診が大切です。検診は“症状がない元気な人が対象”であるということを強調しています。また、症状があれば検診ではなく、迷わず医療機関へ相談するよう呼び掛けています。



●大腸がん精密検査用

大腸がんを苦しむ方を減らすためには、精密検査の受診率を上げることが大変重要です。

便潜血検査を受けっぱなしにせず、すぐに検査結果を確認し、次の行動に移すことが大切です。結果が陽性(+)の場合、「痔だから」「たまたまだろう」などの自己判断はキケンです。早期発見・早期治療につなげるために、精密検査への予約を促し、検査がイメージしやすいよう説明しています。



■A3啓発ポスターが復活

2025年度は、精密検査の大切さを伝えるポスターを加え、啓発ポスターの無償提供を復活しました。

検診啓発ポスターは、大腸がん検診について「自分事」として1年に1回の検診の重要性を見直すきっかけとなり、受診への後押しとなるようメッセージを込めています。自治体施設やクリニックはもちろん、若者や女性が集まる場でも馴染むデザインです。鮮やかな印象で目を引き、大腸がんに関する大切な情報を多くの方にお伝えします。

陽性なら必ず精密検査を受けてほしい。精密検査啓発ポスターは検査結果を確認した際の様子をリアルに描き、精密検査受診を強く促すインパクトのあるデザインにしました。早期発見・早期治療につなげるために、検査の受け方の流れまで記載しています。公共施設や街頭掲示板、医療機関等に掲示、がん検診連携企業への配布などにご利用ください。



大腸がん検診啓発ポスター



大腸がん精密検査啓発ポスター

■A4サイズ ポスターデータ提供

大腸がん検診啓発ポスター、精密検査啓発ポスターの2種類をA4サイズのデータ(office、PPT形式)で提供します。使いやすいA4サイズのため、チラシとして裏面の活用ができ、郵便物にも入れやすく、公共施設等のトイレの個室での掲示や市内の薬局・スーパーへ配布、PDFデータ等で保存をして、メールマガジンやWebサイトに掲載、地元情報誌への広告掲載など、様々な活用いただけます。



下段に余白を設けており、ご活用いただく自治体や団体独自の情報(キャッチコピー、検診日程、問い合わせ先、二次元コードなど)を記載できます。

←情報入力スペース
この部分に自由に記載できます

各種データ資料もリニューアル

当法人では小冊子の2025年度版リニューアルにともない、あわせてデータ資料もリニューアルしました。使用時期や啓発メッセージを届けたい対象などに合わせながら、ぜひご利用ください。

■小冊子2種(全般用、精密検査用)スクロール版

今や誰もが保有するスマートフォン。当法人でも小冊子の内容を手軽にスマートフォンでスクロールしながら見られるよう、Webサイトに掲載しています。がん検診案内や庁舎内の掲示板に掲出するポスターなどに、この小冊子へのURLや二次元コードを記載することで、多くの方に見てもらえる機会が広がります。詳しくは当法人Webサイトをご覧ください。



小冊子(スクロール版)二次元コード

■デジタルサイネージ

大腸がん検診啓発のデジタルサイネージのデータ提供をしています。検診は元気な時に受けるものとして、大腸がん検診をネガティブなイメージではなく、明るい印象で発信することができます。健康な毎日を過ごすための1年に1回のカラダの確認として、検診受診を前向きに考えてほしいという啓発メッセージを掲出することができます。

縦型・横型(jpg形式)をご用意しています。

公共施設のサイネージへの掲出、またWebサイトやメール配信時の再受診勧奨などにご利用ください。

3月の大腸がん啓発月間や女性の健康週間、自治体の検診シーズンに合わせての掲出もお勧めです。



2024年度例 左:秩父市役所本庁舎内デジタルサイネージ(縦) 右:ウニクス秩父屋外デジタルサイネージ(横) 画像提供:秩父市保健センター

自治体の資料活用方法のご紹介

様々な自治体で、当法人のデータ提供資料を広報紙や案内物への掲載や公式SNSなど各種媒体にて活用いただいておりますので、2024年の活用の一部をご紹介します。

尚、2025年度版への切り替えは2月20日からとなります。検診案内などの説明にイラストや図表を加えることで、内容もイメージしやすくなりますので、ぜひWebサイトよりご覧ください。

■町の広報紙にイラスト資料を活用

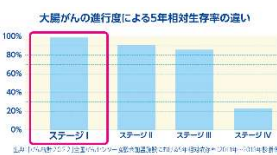
・津幡町役場 健康福祉部健康推進課

毎年9月はがん征圧月間であり、津幡町の広報紙では大腸がん検診を呼びかける記事が掲載されました。その中で、部位別がん死亡者数の図表や便潜血検査のイラストを用いて、市民の方々へ大腸がんに関する知識をお伝えしながら検診受診を推奨し、受診率向上の対策を行っています。



町の広報紙

画像提供:津幡町役場 健康福祉部健康推進課

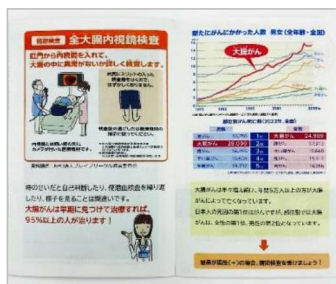


■受診勧奨はがきにイラスト資料を活用

・東広島市 健康福祉部医療保健課

大腸がん精密検査の受診勧奨はがきにて、グラフを用いながら大腸がんにかかる人が増えていることや死亡数など大腸がんの情報をお伝えしています。また、受診対象の方々へ、精密検査への不安や抵抗を少しでも軽減してもらえるよう、イラストを交えて説明しています。

痔のせいだと自己判断したり、便潜血検査を繰り返したり、様子を見たりせず、精密検査を受けることを呼びかけています。



画像提供:東広島市 健康福祉部医療保健課

■デジタルサイネージ用ポスターを市の公式SNSにて活用

・沼津市保健センター(健康づくり課)

「9月1日大腸がん検診の日」に関連して市公式SNS(LINE)にて、大事なメッセージが込められたデジタルサイネージとともに検診受診啓発を投稿しました。

投稿記事には、市の健康診査の案内ページへアクセスできるリンクが貼られており、すぐ行動に移せるよう工夫しています。同時期に役所内のモニターにて大腸がん啓発動画も配信し、大腸がん検診の日をきっかけに、検診受診を呼びかけています。



市の公式LINE

画像提供:沼津市保健センター(健康づくり課)

■SNS用のサイズもご用意

LINE、X(旧Twitter)、FacebookなどのSNSを通して市民の方々へ情報を発信している自治体も増えてきています。デジタルサイネージをSNSで利用しやすいサイズで作成しました。SNSから情報を得ている方々へも大腸がんについて考えるきっかけになればと思います。



多種多様に使いやすいサイズ LINE リッチメッセージ推奨サイズ

1080px×1920px

1040px×1040px

当法人の啓発資料のご利用、誠にありがとうございます。紹介させていただいた自治体の取り組みを参考に、ぜひ当法人の資料を新年度の大腸がん検診案内等にご活用ください。

【資料申込】Webサイトにて受付中 <http://bravecircle.net>

啓発資材「採便教育セット」 使用アンケート報告

便潜血検査の正しい採便方法を学べる体験型の啓発資材「採便教育セット」をお使いいただいたみなさまへ、アンケートを通してご意見・ご感想をお聞かせいただきましたので一部をご紹介します。

■市民のみなさまの反響

- ・ 特に子どもたちの関心が高く、同伴の親世代の方にも合わせて採便教育を行う事ができた。
- ・ 大腸がんクイズラリーコーナーの手前に、採便教育セットを設置したため、子どもから高齢者まで幅広い年代の方に興味をもって参加していただいた。クイズラリーポスターにヒントが載っていたため、ヒントを探しながら大腸がんの啓発内容をじっくり見ていただけたと思う。
- ・ 採便棒を便に突き刺すと思っていた人もいて、正しい採便方法を伝える事ができた。
- ・ 今まで使用したことのない媒体だったので、興味を引くことができたように感じた。



■使ってみて良かった点・改善点

- ・ マニュアルや説明シートが役立った。
- ・ 資材を使うことで、分かりやすく採便方法を伝えることができ、実習生から市民の方へ啓発する際にも活かすことができた。
- ・ コンパクトなので、展示スペースの幅を取らないのでよい。
- ・ 個別ではなく数名同時に説明することが多いので、大きい資材があれば説明しやすかったと思いました。
- ・ 実際の採便棒の見本もついていたらなおありがたい。

貴重なご意見をいただき、誠にありがとうございました。

大腸がんの早期発見につなげるために、便潜血検査の精度を高めることが重要です。検診啓発のイベントなどで市民のみなさまに正しい採便方法をお伝えする啓発資材としてご活用ください。

【資材申込】Webサイトにて受付中 <http://bravecircle.net>

Tokyo健康ウォーク2024を開催しました

2024年11月24日(日)、東京都荒川区にて、『Tokyo健康ウォーク2024』を開催いたしました。このウォーキングイベントは、大腸がんの予防に日々の運動習慣が有効であるという考えに基づき、大腸がん検診を広く都民に呼びかけるもので、東京都とNPO法人ブレイブサークル運営委員会が主催し、今回で15回目の開催となりました。当日は清々しい秋晴れの下、NPO法人東京都ウォーキング協会や企業等の支援を得て実施し、約1,200名の方に参加していただきました。



大腸がんクイズラリーの様子 特別協賛オリンパス社の展示

大腸がん検診の大切さについて学ぶ動画や、コース内で実施された大腸がんに関するクイズラリーで、大腸がん検診や精密検査受診の重要性について理解を深めていただきました。ゲストの澤穂希さんによるスタート前の出発式やゴール後の抽選会を実施し、幅広い年代の方にお楽しみいただきました。また、公益財団法人東京都予防医学協会の協力のもと、40歳以上の参加者を対象とした無料大腸がん検診を実施し、約500名の方から検体の提出がありました。

事務局より

次年度に向けて、資材のリニューアルを進めております。少しでも検診の大切さを届けるお手伝いできればと思います。当法人は2025年も鋭意邁進してまいりますので、引き続きご支援を賜りますようお願いいたします。



広報「ブレイブサークル」13号
2025年2月発行

NPO法人ブレイブサークル運営委員会 事務局
〒160-0023 東京都新宿区西新宿7-22-37 ストック西新宿303
TEL: 03-6908-9160 FAX: 03-6908-9150
メール: info@bravecircle.net Webサイト: <http://bravecircle.net>